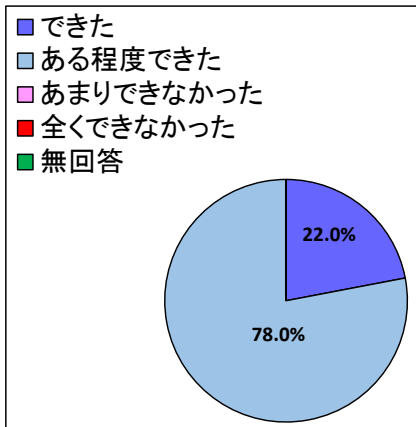


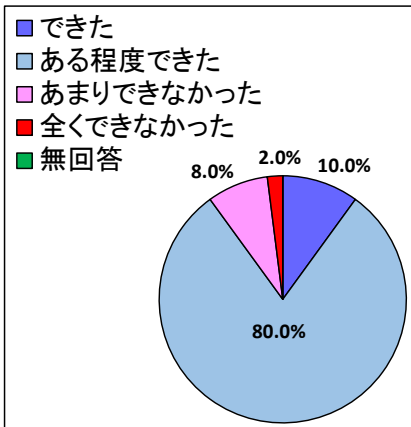
2 参加要員アンケート結果（災害対策本部運営訓練）

【要員アンケート結果】アンケート回答者50人（愛媛県39人、伊方町6人、大分県1人、その他4人）

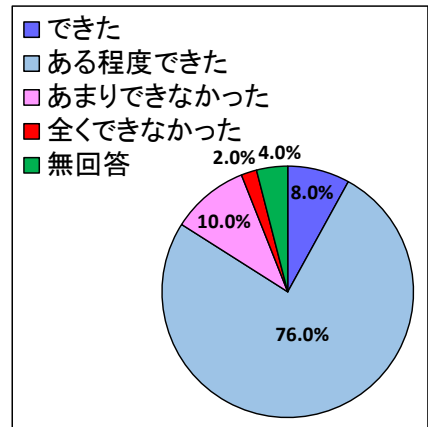
Q1 今回の訓練の想定や目的等を理解し、訓練参加できましたか



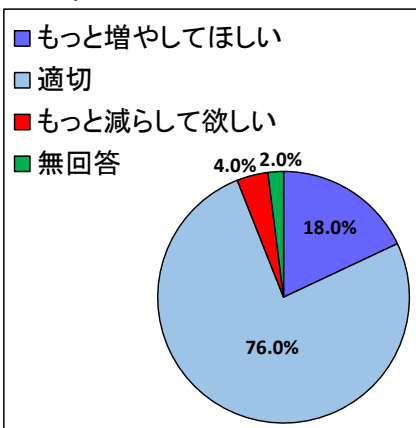
Q2 自らの役割を果たすことができましたか



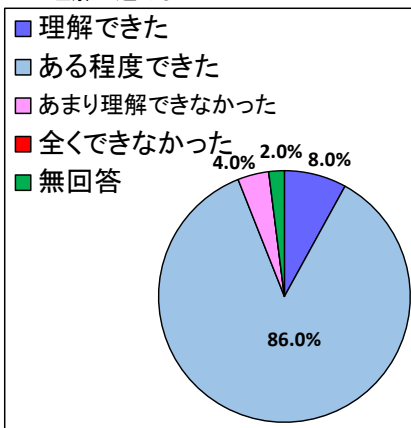
Q3 訓練参加機関との連携はできましたか



Q4 今回の訓練における役割、分担についてはどうでしたか



Q5 原子力災害時における住民避難の対応等について理解が進みましたか



【参加要員からの主な意見】

- ・事前学習の時間があり、原子力災害への理解がしやすかった。事前学習は次回もしてほしい。
- ・NISSを使用できるパソコン・プリンタの増設、共有フォルダ等によるNISSの情報を共有できるような仕組みを作るべきだと感じた。
- ・情報収集連絡班の人数が少ないため、対応に苦慮していた様子。そのため情報も的確にまわってこなかった印象。
- ・事前に割り振られた役割分担を各自が全うしながら、周囲の対応状況などにより、適宜、他の役割もフォローするなど、実際の災害発生時に想定される対応を行うことができた点が良かったと感じています。
- ・情報共有はその都度行っていたが、伊方町災害対策本部内でも担当を決めておくことよりスムーズに対応できたのではないかと感じた。

3 参加要員アンケート結果（ドローン運用訓練）

【愛媛県】

- ・運航管理システムの追加画面について、必ず手前に表示されるように、配置を見直してほしい。
- ・片道飛行のルートの場合でもドローンの回収及び高精細映像の共有まで実施した方がより実践的な訓練になると思われる。
- ・実災害を意識した複数ルートの同時飛行や道路が被災した場合の代替避難経路検討訓練などがあるとよい。
- ・夕方にドローンを飛行させた際、山影部分が暗く、道路状況を視認しづらい場合があった。
- ・ドローンが飛行完了した後に、録画した映像を確認する場合、撮影した映像と地図上の位置関係が直ちに分からないのが不便だった。
- ・マニュアルについて、作業手順は分かりやすかった。今後、イレギュラーな場合への対応等についても追記すると、より良いものになる。

【ドローン配備拠点（伊方町役場、瀬戸支所、三崎支所、町見出張所、八幡浜消防第一分署）】

- ・訓練参加者が固定化されてきているので、より多くの人に参加してもらうよう検討が必要。
- ・ドローンの準備から片付けまでの一連の流れを把握することができてよかった。
- ・ほとんどの作業を職員自らの手で実施できたので、実践的でよかった。年一回はこういった訓練を行った方がよい。
- ・現状の仕組みでは、映像トラブルが発生した場合に、端末のツールが起動していないのか、カメラとドローンの接続が悪いのか、原因特定が難しい。